



# 「ふれあいガラスフェスタ」

国民文化祭（来年11月3日(祝)～12日(日)）まであと一年と数か月。期間中、きらら交流館や未来館などを会場に「創造・現代ガラス展」が開催されます。国内外で活躍するガラス作家の作品展示を中心に、ガラスに関するさまざまな催しを行う予定です。これを機会に、ぜひ会場にご来場いただき、ガラスの魅力を体感してみたいはいかがでしょうか。



▲武永さん（写真左）と福西さんが共同作業で制作中の「わにのいれもの」。真っ赤に溶けたガラスを伸ばしながらくっつけ、ハサミで切って形を整えると、「わに」の足ができあがりました。（17ページをご覧ください。）

## デモンストレーション

— 子どもがデザインした絵や紙粘土をもとに、ガラス作家が作品をつくっていく — デモンストレーションでは、そのような試みが行われました。当日、制作に当たった福西毅さん、武永和茂さんのお二人は、過去2回行われた「現代ガラス展 in おのだ」で入賞したガラス作家です。M.M Glass Studio 主宰の西川慎さん（未来館講師）が制作過程を解説する中、真っ赤に溶けたガラスの塊が次々と形を変えていきました。普段見ることのないガラスの制作過程を、ホットショップ（熱いガラスを加工するところ）そばの特等席で見学した人たちは、ガラス作家の技を存分に堪能しました。

## ..... きらら交流館で華展とお茶会を開催 .....

きらら交流館では、「ふれあいガラスフェスタ」に合わせて、8月20・21日の2日間、「子ども生け花教室華展」が行われました。展示されたのは、交流館と本山公民館で月1回生け花を習っている子どもたちの作品19点。フェスタにちなんでガラスの花器を使用し、来館者に涼しい癒しの空間を提供しました。また21日には、「子どもお茶教室お茶会」も開かれ、交流館でお茶の作法を習っている子どもたちが、自分で点てたお抹茶を来館者に振るまいました。



▲子どもたちが心を込めて生けた生け花。ガラスの花器がさらに作品の美しさを引き立てます。

## 一口メモ



### ■「国民文化祭」とは？

毎年、都道府県単位で開催される日本最大の文化の祭典。来年11月3日～12日の間、山口県で開催される「第21回国民文化祭・やまぐち2006」では、伝統芸能はもちろん、音楽や演劇、舞踊、美術、さらには茶道や生け花など生活文化に至るまで、さまざまな分野で文化活動を行っている個人や団体が集まり、発表を行い、交流を深めます。期間中には、県内各地でさまざまな催しが行われます。

### ■国民文化祭期間中、市内で行われる催しは？

- ・「創造・現代ガラス展」  
11月3日(祝)～12日(日)  
きららガラス未来館ほか
- ・「ジャズダンスフェスティバル」  
11月5日(日) 文化会館
- ・「少年少女合唱祭」  
11月12日(日) 文化会館

### ■なぜ山陽小野田市でガラス展を？

昔から窯業が盛んだった小野田地域。その歴史を踏まえ、国内外で高い評価を受けている旧小野田市出身のガラス造形作家・故竹内傳治（たけうちでんじ）さんのご尽力で、2001年に「第1回現代ガラス展 in おのだ」を開催。また、2004年には、ガラス文化の発信拠点となる「きららガラス未来館」がオープンするなど、市をあげて「ガラス工房のあるまちづくり」に取り組んでいる点などが評価され、国民文化祭でのガラス展の開催が決まりました。